

# 泰阜時代

疾きこと風の如く  
徐かなること林の如く  
侵掠すること火の如く  
動かざること山の如く  
知り難きこと陰の如く  
動くこと雷霆の如し

「孫子」より



# 目次

やすおかってどんなところ??	2
やすおか全景ランキング!!	3
秘境駅を巡る	4
あいパーク、およい亭、天竜ライン下り	5
夢未来館	6
一「高町」の地名の由来	
一ふれあい工房	
月に1度の情報共有の場“常会”	7
一ちょっと豆知識	
万古隧道	8
お宮	9
方言	10
お茶の時間、挨拶	11
地域活動	12
サークル活動が盛ん!!	13
飲みニケーション!!、万歳三唱	14
消防団、診療所、駐在所、役場	15
泰阜村立学校美術館	16
宿泊施設	17
やすおか村写真集“自然がいっぱい”	巻尾

# やすおかってどんなところ??



長野県下伊那郡の南部に位置する人口1,900人ほどの小さな村。信号もなければコンビニもない。必要なものだけがそこにあるシンプルな村。山と川とに囲まれた自然豊かなところ。

## ◇アクセス

車

○天竜峡 IC より国道 151 号線経由で約 20 分  
○豊橋方面からは、151 号線で約 3 時間

公共交通機関

○JR 飯田線（唐笠、門島、田本、温田）  
（伊那路三号（特急）は温田に停車します）



## ◇泰阜に架かる 4 つの橋

長瀬橋



南宮大橋



櫓橋



千泰大橋



# やすおか絶景ランキング!!

## 3位 棚田

田んぼを見ると、なんとなく懐かしい気持ちになる。お米は日本人の命の源だからかなあ。これが黄金色になったときもっと素敵になります。



## 2位 大峰山展望台



標高 750m程なのでそんなに高くないけれど、泰阜を見渡したいならここ。途中まで車で行けば、歩いて15分程でちょっとした展望台にたどり着けます。昔見張り台があったところで、ところどころにその痕跡が見られます。急なところもあるので、気をつけて登ってください。

## 1位 朽城の紅葉

万古隧道を抜け、漆平野集落を通り越し、朽城集落をずんずん進む。ずんずんズンズン・・・安全運転だと隧道から30分くらい。途中、アマゴの養殖場がある。ちょっと前までは、イノシシ牧場があったものの、普通に出没するので、需要がなくなり閉鎖。

秋になったらおにぎりを持って是非おでかけて。日頃のうっぴんや悩みを消してくれるような、そんな景色に出会えるでしょう。写真を載せたいところですが、これは見てのお楽しみ!!





# 秘境駅を巡る



泰阜村には5つの駅が通っています。(1つは飯田市の所在)  
いずれも無人駅で、特に田本駅は秘境の駅として数えられています。

唐笠駅は、天竜峡駅から出ている「天竜ライン下り」の到着港ですし、  
温田駅は平成7年より伊那路三号(特急)の停車駅にもなりました。

秋の紅葉時には車窓から見る赤や黄色、オレンジ色といった色彩を楽しむことができます。

唐笠



門島



田本



温田



## ☆あいパークやすおか

### ドリームボブスレー



全長 522m あるボブスレーは一度乗ると病みつきになるかも！？幅広い世代に人気のドリームボブスレーです。標高 800m 近くに位置するため、天気の良い日の景色は最高ですよ！



### およい亭

2009年5月に「およい亭」としてリニューアルオープン。村内外から人が訪れます。地元のキクイモを使った「キクイモゼリー」や「ぜいたく漬け」と呼ばれる漬物なども取り扱っています。



### 天竜ライン下り

飯田の天竜峡駅から程近くにある「天龍ライン下り」の到着港が泰阜村の唐笠港です。港ではたくさんのアヒルたちがお出迎えしてくれます。



## 夢未来館



高町を走っているとなぜか富士山が見える。え??何で??と頭にクエスチョンが浮かんだら奈川弘さんのお宅にある夢未来館に行ってみよう。富士山や紅葉などを写した写真館や水芭蕉が見られるかも。



## 「高町」の地名の由来

高町は昔、高松という地名でした。

“たかまつ”が“たかまち”と聞き間違えられたまま、高町と登録されてしまったそうです。

また、高町には松川きりというあだ名のとても美しい女性がいたとのこと。どれだけきれいだったのか見てみたかったなあ。

## ふれあい工房

梨久保の道端にふれあい工房という名前の小屋があります。温田在住のおじいちゃんは、ひとりせっせと木工に励んでいます。

囲炉裏で沸かしたお湯で飲むお茶やカップラーメンは最高においしいのです！近くを通る際は、是非寄って見てください。いろんな話を聴かせてくれますよ！



# 月に一度の情報共有の場 “常会”



各区長会、役員会で話し合われた事柄伝達、村や学校の広報の配布、税金や保険料、水道料金の集金などが行われる。

月に一度必ず顔を合わすので住民同士コミュニケーションがとれ、地域のつながりが保たれる。

また、各集落に1つずつ改善センター（集会場）がある。

そこで常会やお祭りが行われる。

いわば地域のコミュニティセンターである。



## ◇ちょっとまめ知識

右の写真は何だと思いませんか??

昔のバスが金野地区6班の集会場になっています。金野集落はかつて、操り人形や舞いがあるなど、芸能も盛んに行われていました。

金野さんという大家さんのお宅があった場所が泰阜1番地。

飯田市に最も近く、若い家族も多く住んでいます。

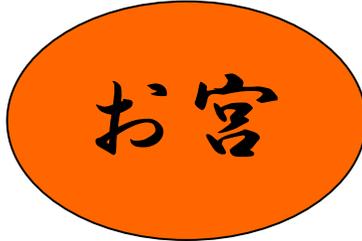


# 万古隧道

呼んでいる胸のどこか奥で～♪♪  
千と千尋の神隠しのトンネルを思い出す。  
万古隧道を抜けると漆平野という集落に入る。  
なんとなく隔離されたような別世界。  
郵便屋さんや保険屋さん、尋ね人がくると  
『寄ってお茶でも飲んでいけ～』と  
お茶とお漬物を出してくれることもしばしば。  
そんな温かく、穏やかな時間がここには流れています。  
山ばかりなのにどうして漆平野って言うんだろう。



都会人の2人が野生のシカやサルに喜んでいると、  
住民はせっかく作った野菜が山の獣に  
採られてしまうと悲しんでいる。  
獣たちはあと少しで収穫だと  
思っているとやってくるらしい。  
本当に油断大敵である。



現在泰阜村には、18の集落がありますが、昔はそれぞれが独立した村であったこともあり、お宮も各集落に存在します。

一口にお宮といっても、それぞれに立っている場所、環境、雰囲気の違い、また違った表情を見せています。ただ、概ね集落の中の高い場所に建てられているのが特徴といえるでしょう。

集落によっては「宮」とつく苗字が多いのも特徴的です。例えば、宮島、宮澤、宮下といった具合です。

最近ではお城ブームが巷で騒がれていますが、各集落のお宮巡りというのもいいかもしれませんね。



# 方言

語尾に〇〇に・〇〇な・〇〇だになどをつける。  
なんとなく優しい感じがする。

方言	意味	用例など
あくてー	悪口	あのおじいはあくてーばっかこいて。
あばな	さようなら	あばなっ!!軽く手を挙げて。
あんじゃねえ	だいじょうぶ	明日ならあんじゃねえで。
いーからかげん	でたらめ	いーからかげんでいいのよ。
いって	同じ	これと <u>いって</u> の買ってきて。
おやげねえ	気の毒	これしかなくて <u>おやげねえ</u> なあ。
ごうがわく	腹が立つ	<u>ごうがわいて</u> 帰った。
しとなる	成長する	これぐらい <u>しとな</u> ったら採って。
とぶ	走る	昔は山を <u>とんで</u> 学校まで行った。
びちやる	捨てる	この腐ったの <u>びちや</u> っというて。
まんま	ご飯	<u>まんま</u> 食べてきた??
みやましい	立派	なんて <u>みやましい</u> 衆(人たち)だ
やんか	いたずら	昔はよく <u>やんか</u> した。

## お茶の時間



お茶だに～。

10時と3時になるとそんな声が聞こえてくる。

農作業の手をやめ、みんなが集まってくる。休憩したい、そんな気持ちがあるわけじゃないけど、

なんかいいなあと思う瞬間である。

10時・3時としっかり休むことが、

仕事を長く続けられるコツかな。

同じ時間に休憩を取ることにも和のこころを感じずにはられない。

## あいさつ

車ですれ違うたびに頭を下げる。

都会で生活していたら考えられない、というか不可能。

村の人の顔を覚えていくうちに、すれ違った人の名前が分かるようになっていく。なんかそれが楽しかったりする。



小学生はわざわざ振り返ってまで頭を下げてくれる。

なんて礼儀正しい子どもたちなんだ。

先輩から後輩へちゃんと伝統が引き継がれている。

泰阜では子どもが大切にされている感じがする。

泰阜の将来を担う大事な存在なのだろうな。

程度は違うにしろ、ずっと泰阜に住んでいる人たちは、地域のことや地域の将来の事をどこかで考えている。これが地域愛なんだろうな。

## 地域活動



道路の掃除はみんなでやる。  
年に何度か集落の人が集まって道路の掃除をしたり、川の掃除をしたりする。  
自分たちの住むところは自分たちの手で。  
そんな空気が感じる。

サラリーマンの家にだって鎌ぐらい持っている。都会では見る機会は少ないが、ここでは当たり前前の風景。

行事には基本的にみんなが参加する。  
メールでの活字のやりとりといった「無機的」なつながりではなく、人と人が顔を見ながら会話をする、コミュニケーションをとる「有機的」なつながりがここにはある。



いつからか人間は便利さばかりを追い求めてきた。便利なのが最高の幸せであるかのように。

便利さを追求して行った結果、一番大切な伝統、文化、風習は急速に失われてしまった。失われたものを取り戻すには失うまでにかかった時間と同じくらい時間がかかるという。

便利＝幸せ とは限らない

不便だからこそ、豊かではないからこそ、受け継がれてきた技術、文化、風習があったのではないだろうか。

昔に戻れというのではない。何も先を急ぐ必要はない、と。

# サークル活動が盛ん!!



田舎の夜は長そう。

そう勝手に思っていないですか??

泰阜村にはたくさんのサークルがあります。

ゲートボール、ソフトボール、バトミントン、ソフトバレー、

少年野球、太鼓、剣道、弓道、茶道、華道、

カラオケ、コーラス、琴.....

たぶんまだまだある。

子どもからおじいちゃん、おばあちゃんまで

田舎の人って案外忙しいですよ。



# 飲みニケーション!!

田舎の人はお酒が好きだと聞いていたけど、泰阜の人は本当にお酒が好きだ。飲み会では乾杯をしてからしばらくは競争のように注ぎあう。

最初はすごく戸惑ったけど、なんか面白い光景。お酒に弱い私は、相手にも無理して飲ませたりしな



かったけど、ここではみんな遠慮なく注いでくる。これも優しさかなあ・・・。

これぐらいしか楽しみがないじゃんと思気なくお酒を差し出すみなさまなのである。飲み会が終わるとこのビンがゴロゴロと転がっている。



## 万歳三唱

おめでたい行事や飲み会の最後に全員で万歳をします。『泰阜の明るい将来を願って・・・、バンザイ、バンザイ、バンザイ』とか。お返しの万歳もあったりする。初めて出会ったときは軽くカルチャーショックだった。なんか中国とか朝鮮にいる気分。みんなが当たり前の顔をしてや

るから、最初は恥ずかしかったものの、今は楽しくやっています。

## 消防団



村内最大の行事とされているのが、この消防技術大会です。初めて練習風景を見たときは、軍隊かなにかの練習かなと思うくらいに規律がしっかりしていて驚いた記憶があります。

消防団も地域とのつながりを維持して行く上で重要な存在だと思います。

## 泰阜村役場



## 診療所



## 駐在所



みんな顔見知りなので犯罪や事件は起きない。お年寄りやお人好しい人が多いので、電話による詐欺は気を付けないといけません。地域の安全は自分たちで守る、それが基本になっている。安心して暮らしたいならこういう田舎へ。

# 泰阜村立学校美術館



「将来、村を背負って立つ子どもたちの夢や愛を豊かに膨らませてあげたい」「貧しいけれども心は貪しない（貧すれど貪せず）」という思いで教員給与の1割を使って美術品を少しずつ買い集めました。

24年の時を経て昭和29年、学校の裏山に平等院鳳凰堂を模した美しい美術館が建てられました。当時は学校に美術館といった例は他になく、「貧すれど貪せず」といった精神は今でも受け継がれています。現在、老朽化等の理由から中に入ることはできませんが、建物を見ることはできます。

建物—旧泰阜北小の裏、万場集落

美術品—泰阜小学校、田本集落 にあります。

# 宿泊施設

## 左京の宿



昔泰阜に実存した古民家を移築し、宿泊施設へと姿を変えました。

左京は中央に左京川が流れていて、左京の宿はそのすぐ近く。条件が整えば、朝方、綺麗な雲海を見ることができでしょう。

都会に流れる時間はここにはありません。どことなく懐かしい、落ち着ける空間がここにはあります。



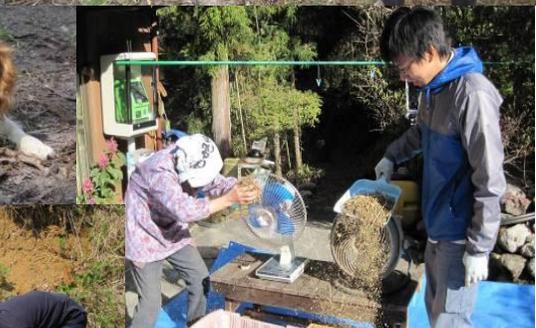
## やまびこ館

泰阜のほぼ中央、田本集落に位置するやまびこ館では、季節に応じた旬の食材を利用した料理を堪能することができます。

すぐお隣には山村留学施設「グリーンウッド」があります。







平成 22 年 2 月 発行  
 < 発行 者 >  
 緑のふるさと協力隊  
 川上和浩  
 舟橋理恵子